



2025年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年12月13日

上場会社名 トミタ電機株式会社 上場取引所 東
コード番号 6898 URL <https://www.tomita-electric.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神谷 哲郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 神谷 陽一郎 (TEL) 0857(22)8441
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年1月期第3四半期の連結業績(2024年2月1日~2024年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期第3四半期	1,026	△11.6	△118	—	△121	—	△125	—
2024年1月期第3四半期	1,161	△28.1	△27	—	△31	—	△36	—

(注) 包括利益 2025年1月期第3四半期 △110百万円(—%) 2024年1月期第3四半期 116百万円(△66.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年1月期第3四半期	△163.26	—
2024年1月期第3四半期	△52.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年1月期第3四半期	4,684	3,708	79.2
2024年1月期	4,697	3,780	80.5

(参考) 自己資本 2025年1月期第3四半期 3,708百万円 2024年1月期 3,779百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年1月期	—	0.00	—	—	—
2025年1月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年1月期の連結業績予想(2024年2月1日~2025年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,407	△5.7	△161	—	△171	—	△176	—	△227.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年1月期3Q	816,979株	2024年1月期	816,979株
2025年1月期3Q	35,787株	2024年1月期	60,361株
2025年1月期3Q	766,985株	2024年1月期3Q	692,978株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 有 (任意)

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 P.2「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(重要な後発事象)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、インフレが落ち着きを見せ、個人消費が緩やかに改善方向へとむかいました。欧米経済においてはインフレの鎮静化により個人消費や設備投資に改善がみられたものの、ロシア・ウクライナや中東での武力衝突が激化し、地政学的なリスクが増大して不安定な状況が続きました。中国経済は長引く不動産不況が厳しさを増し、内需は不振が続きました。日本経済におきましては、インバウンド消費の増加、並びに個人消費の緩やかな回復や設備投資の持ち直しに動きが見られたものの、年初からの円高基調が反転し、当第3四半期連結累計期間においては円安が進行するなど、経済状況の先行きに不透明さが増しております。

この様な事業環境の中、当社グループといたしましては、国内市場においては依然として顧客の在庫調整が継続し、また半導体製造装置をはじめとするFA機器、工作機械向けの回復が遅れて、大きく売上高が伸び悩みました。一方、中国市場におきましては顧客の在庫調整はほぼ終息したものと見られ、特にEV車載関連の受注に回復傾向が見られました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は10億2千6百万円（前年同四半期比11.6%減）となりました。損益面では、営業損失は1億1千8百万円（前年同四半期は2千7百万円の営業損失）、経常損失は1億2千1百万円（前年同四半期は3千1百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億2千5百万円（前年同四半期は3千6百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて1千3百万円減少し、46億8千4百万円となりました。このうち、流動資産は24億7千5百万円、固定資産は22億8百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて5千8百万円増加し、9億7千5百万円となりました。このうち、流動負債は2億5千3百万円、固定負債は7億2千1百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて7千1百万円減少し、37億8百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年12月6日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

外部環境が想定外に速く、大きく変化していることから公表済みの業績予想との乖離把握、状況分析に傾注し、今後、通期連結業績予想に変更が予想される場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,318,634	1,203,709
受取手形及び売掛金	310,259	334,566
電子記録債権	60,827	53,577
商品及び製品	287,480	263,787
仕掛品	418,656	432,490
原材料及び貯蔵品	162,628	161,559
その他	26,934	28,736
貸倒引当金	△2,061	△2,536
流動資産合計	2,583,359	2,475,889
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	151,411	223,557
機械装置及び運搬具（純額）	106,576	129,346
土地	1,715,312	1,715,312
リース資産（純額）	25,754	32,105
その他（純額）	6,575	5,485
建設仮勘定	15,890	11,093
有形固定資産合計	2,021,521	2,116,900
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	47,946	48,909
長期前払費用	1,275	789
その他	1,005	1,005
投資その他の資産合計	50,227	50,704
固定資産合計	2,114,375	2,208,304
資産合計	4,697,735	4,684,194

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	61,621	114,394
未払法人税等	10,637	3,184
未払費用	83,431	60,753
賞与引当金	20,926	51,510
前受収益	5,669	5,669
その他	19,733	17,837
流動負債合計	202,019	253,350
固定負債		
繰延税金負債	3,488	4,656
再評価に係る繰延税金負債	204,932	204,932
退職給付に係る負債	7,864	2,570
役員退職慰労引当金	337,634	346,330
長期前受収益	10,568	10,195
預り保証金	128,143	124,435
その他	22,480	28,848
固定負債合計	715,111	721,968
負債合計	917,130	975,318
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,966,818	1,966,818
資本剰余金	1,054,846	1,058,312
利益剰余金	341,525	216,308
自己株式	△87,221	△51,720
株主資本合計	3,275,968	3,189,719
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,042	2,838
土地再評価差額金	311,550	311,550
為替換算調整勘定	189,288	204,327
その他の包括利益累計額合計	503,880	518,716
新株予約権	754	439
純資産合計	3,780,604	3,708,875
負債純資産合計	4,697,735	4,684,194

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)
売上高	1,161,966	1,026,682
売上原価	843,952	819,490
売上総利益	318,013	207,191
販売費及び一般管理費	345,429	325,623
営業損失(△)	△27,415	△118,431
営業外収益		
受取利息	851	10,204
受取配当金	744	1,705
助成金収入	5,956	195
金型売却益	3,436	2,569
スクラップ売却益	187	5,218
雑収入	623	366
営業外収益合計	11,799	20,260
営業外費用		
支払利息	572	548
新株予約権発行費	6,921	260
撤去費用	—	19,000
製品補償費用	374	6
為替差損	5,269	3,146
雑損失	2,339	251
営業外費用合計	15,477	23,215
経常損失(△)	△31,093	△121,386
特別損失		
固定資産除却損	747	0
特別損失合計	747	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△31,841	△121,386
法人税、住民税及び事業税	4,543	3,830
法人税等還付税額	△21,420	—
法人税等調整額	21,081	—
法人税等合計	4,204	3,830
四半期純損失(△)	△36,045	△125,216
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△36,045	△125,216

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)
四半期純損失(△)	△36,045	△125,216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,999	△203
為替換算調整勘定	147,338	15,039
その他の包括利益合計	152,337	14,835
四半期包括利益	116,291	△110,381
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	116,291	△110,381
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月1日の取締役会決議に基づき、2023年5月17日に発行した第三者割当による行使価額修正条項付第1回新株予約権の一部行使による自己株式の処分により、資本剰余金が3,466千円増加し、自己株式が35,547千円減少しました。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

1. 新株予約権の行使による自己株式の処分

2023年5月1日開催の取締役会決議に基づき、2023年5月17日に発行した第三者割当による行使価額修正条項付第1回新株予約権の一部について、2024年11月1日から2024年11月30日までの間に、以下の通り行使され自己株式の処分が行われております。

- (1) 行使新株予約権の数 208 個
- (2) 処分した自己株式数 20,800 株
- (3) 行使価額の総額 39,205,980 円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年2月1日 至 2023年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	電子部品材料 事業	不動産賃貸 事業	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
売上高					
外部顧客への売上高	1,113,129	48,836	1,161,966	—	1,161,966
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,113,129	48,836	1,161,966	—	1,161,966
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△62,718	35,302	△27,415	—	△27,415

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	電子部品材料 事業	不動産賃貸 事業	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
売上高					
外部顧客への売上高	977,845	48,836	1,026,682	—	1,026,682
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	977,845	48,836	1,026,682	—	1,026,682
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△152,919	34,488	△118,431	—	△118,431

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)
減価償却費	36,911千円	33,873千円

独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書

2024年12月13日

トミタ電機株式会社
取締役会 御中

アスカ監査法人
東京都港区

指定社員
業務執行社員 公認会計士 坂 井 義 和

指定社員
業務執行社員 公認会計士 伊 藤 昌 久

監査人の結論

当監査法人は、四半期決算短信の「添付資料」に掲げられているトミタ電機株式会社の2024年2月1日から2025年1月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2024年8月1日から2024年10月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2024年2月1日から2024年10月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について期中レビューを行った。

当監査法人が実施した期中レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に準拠して期中レビューを行った。期中レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して四半期連結財務諸表を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した期中レビューに基づいて、期中レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に従って、期中レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の期中レビュー手続を実施する。期中レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、期中レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、期中レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論表明の基礎となる、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の期中レビューに関する指揮、監督及び査閲に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した期中レビューの範囲とその実施時期、期中レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記の期中レビュー報告書の原本は当社(四半期決算短信開示会社)が別途保管しています。
2. XBRLデータは期中レビューの対象には含まれておりません。